

## 新型コロナウイルス感染症における三重DMATの活動について

### 1. DMATについて

DMATは災害の発生直後の急性期（概ね48時間以内）に活動を開始できる機動性を持った、専門的な研修・訓練を受けた医療チームです。本県においても、17病院において、計38チーム、200名を超えるDMAT隊員が災害に備え研鑽を積んでいます。

### 2. 新型コロナウイルス感染症とDMATの関わり

#### (1) 都道府県調整本部へのDMATの参画

令和2年3月26日付け厚生労働省事務連絡において、県内の患者受入れを調整する機能を有する都道府県調整本部に「DMATメンバーの参画も考えられる。」とされています。

本県においては、三重県新型コロナウイルス感染症対策本部入院調整担当における医療コーディネーターとして、2名のDMAT資格保有者が参画しています。

#### (2) ダイヤモンドプリンセス等における活動

厚生労働省からDMAT指定医療機関に対して、ダイヤモンドプリンセスでの診療・健康管理、医療機関への搬送、また、関係県調整本部での本部活動等への隊員の派遣要請がありました。

本県からも延べ11名が活動に従事しました。

### 3. 新型コロナウイルス感染症対応に係る三重DMAT活動の考え方

新型コロナウイルス感染症は「感染症」であり、災害対策基本法で定める「災害」には該当せず、これまでDMATが活動することを想定していた「災害」ではないことから、基本的には三重DMATとして活動を行うものではないというのが三重県の考え方です。

しかし、厚生労働省が主催するDMAT隊員養成研修においては、「災害」の定義として「需要が供給を上回る状態」と指導されています。近年の台風、豪雨災害におけるDMATおよびDMATロジスティックチームの活動においても、医療現場における対応のみならず、保健福祉・公衆衛生的な側面から地域の復興支援活動を行っているのが現状です。

加えて、下記のような状況が見受けられます。

- ①上記「2. 新型コロナウイルス感染症とDMATの関わり」に示した通り、厚生労働省においては今回の感染症対応にDMATの参画を期待しているところがある。

- ②今回のような大規模な感染症の発生時においては、通常の医療需要を大幅に超え、「災害」に類似する状況が発生しており、DMATがこれまで災害対応で培ってきた現場での機動的な活動等の経験・知識を生かすことができる。
- ③DMAT隊員の中には今回の感染症対応にも協力したいと願う隊員もいる。

以上のことから、三重県においても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、あるいは通常の医療で対応困難な状態が想定された場合には、必要とあれば、DMATの活用も視野に、活動を希望するDMAT隊員が円滑に活動できる環境づくりを進めていくべきである。

また、今回のような大規模な感染症対応へのDMATの関わり方について、今後、厚生労働省から考え方が示された際は、三重県としても適切に対応されたい。